

令和4年度 財務諸表

貸借対照表
正味財産増減計算書
財産目録

〔 自 令和 4年 4月 1 日 〕
〔 至 令和 5年 3月 31日 〕

一般社団法人全国日本学士会
京都市左京区田中大久保町7番地3

貸借対照表

令和5年3月31日現在

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,655,561	2,212,542	5,443,019
流動資産合計	7,655,561	2,212,542	5,443,019
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特別積立資産	10,000,219	15,000,119	△ 4,999,900
特定資産合計	10,000,219	15,000,119	△ 4,999,900
(2) その他固定資産			
建物	17,029,245	17,646,886	△ 617,641
建物附属設備	2,651	5,298	△ 2,647
什器備品	61,624	123,483	△ 61,859
土地	12,730,441	12,730,441	0
電話加入権	224,952	224,952	0
長期前払費用	59,152	0	59,152
その他固定資産合計	30,108,065	30,731,060	△ 622,995
固定資産合計	40,108,284	45,731,179	△ 5,622,895
資産合計	47,763,845	47,943,721	△ 179,876
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	128,082	144,418	△ 16,336
前受金	10,000	10,000	0
預り金	24,756	40,062	△ 15,306
1年内返済予定長期借入金	792,000	792,000	0
流動負債合計	954,838	986,480	△ 31,642
2. 固定負債			
長期借入金	10,350,000	11,142,000	△ 792,000
固定負債合計	10,350,000	11,142,000	△ 792,000
負債合計	11,304,838	12,128,480	△ 823,642
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	36,459,007	35,815,241	643,766
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(10,000,219)	(15,000,119)	(△ 4,999,900)
正味財産合計	36,459,007	35,815,241	643,766
負債及び正味財産合計	47,763,845	47,943,721	△ 179,876

(注)実施事業資産は、次のとおりである。

その他の固定資産	建物	4,257,310
	建物附属設備	662
	什器備品	15,406
	電話加入権	56,238
合 計		4,329,616

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【単位：円】

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	[100]	[76]	[24]
特定資産受取利息	100	76	24
② 受取入会金	[15,000]	[15,000]	[0]
受取入会金	15,000	15,000	0
③ 受取会費	[3,570,000]	[3,680,000]	[△ 110,000]
正会員受取会費	1,410,000	1,320,000	90,000
賛助会員受取会費	2,160,000	2,360,000	△ 200,000
④ 事業収益	[7,388,000]	[7,388,000]	[0]
受取機関誌広告料	7,388,000	7,388,000	0
⑤ 受取寄付金	[1,580,000]	[1,160,000]	[420,000]
表彰事業受取協賛金	1,100,000	1,160,000	△ 60,000
助成事業受取協賛金	430,000	0	430,000
その他受取運営協賛金	50,000	0	50,000
⑥ 雑収益	[17]	[18]	[△ 1]
受取利息	17	18	△ 1
経常収益計	12,553,117	12,243,094	310,023
(2) 経常費用			0
① 事業費	[13,978,867]	[14,067,081]	[△ 88,214]
表彰事業費	2,053,430	2,284,412	△ 230,982
助成事業費	300,569	0	300,569
講演講習会費	100,000	1,109,174	△ 1,009,174
図書刊行費	4,936,474	4,522,323	414,151
役員報酬	3,225,000	2,825,000	400,000
給料手当	1,269,000	966,000	303,000
福利厚生費	560,216	543,426	16,790
通信運搬費	304,623	338,256	△ 33,633
減価償却費	443,395	457,956	△ 14,561
消耗品費	66,203	31,690	34,513
光熱水料費	168,939	155,565	13,374
賃借料	0	456,678	△ 456,678
対外活動費	213,540	103,120	110,420
租税公課	283,595	189,345	94,250
雑費	53,883	84,136	△ 30,253

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	[2,930,484]	[2,809,059]	[121,425]
役員報酬	600,000	600,000	0
会議費	267,455	262,146	5,309
通信運搬費	212,379	197,364	15,015
減価償却費	238,752	246,592	△ 7,840
事務消耗品費	132,787	57,665	75,122
光熱水料費	90,842	83,767	7,075
賃借料	0	245,903	△ 245,903
諸謝金	739,024	693,274	45,750
租税公課	169,905	132,755	37,150
渉外接待費	241,822	146,491	95,331
支払利息	91,781	10,737	81,044
雑費	145,737	132,365	13,372
経常費用計	16,909,351	16,876,140	33,211
当期経常増減額	△ 4,356,234	△ 4,633,046	276,812
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他受取運営協賛金	5,000,000	5,000,000	0
経常外収益計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	5,000,000	5,000,000	0
当期一般正味財産増減額	643,766	366,954	276,812
一般正味財産期首残高	35,815,241	35,448,287	366,954
一般正味財産期末残高	36,459,007	35,815,241	643,766
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	36,459,007	35,815,241	643,766

正味財産増減計算書(内閣府提出用)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	[100]	[76]	[24]
特定資産受取利息	100	76	24
② 受取入金	[15,000]	[15,000]	[0]
受取入金	15,000	15,000	0
③ 受取会費	[3,570,000]	[3,680,000]	[△ 110,000]
正会員受取会費	1,410,000	1,320,000	90,000
賛助会員受取会費	2,160,000	2,360,000	△ 200,000
④ 事業収益	[7,388,000]	[7,388,000]	[0]
受取機関誌広告料	7,388,000	7,388,000	0
⑤ 受取寄付金	[6,580,000]	[6,160,000]	[420,000]
表彰事業受取協賛金	1,100,000	1,160,000	△ 60,000
助成事業受取協賛金	430,000	0	430,000
その他受取運営協賛金	5,050,000	5,000,000	50,000
⑥ 雑収益	[17]	[18]	[△ 1]
受取利息	17	18	△ 1
経常収益計	17,553,117	17,243,094	310,023
(2) 経常費用			0
① 事業費	[13,978,867]	[14,067,081]	[△ 88,214]
役員報酬	3,225,000	2,825,000	400,000
給料手当	1,269,000	966,000	303,000
福利厚生費	560,216	543,426	16,790
会議費	101,900	18,244	83,656
旅費交通費	420,855	814,088	△ 393,233
通信運搬費	354,623	351,246	3,377
減価償却費	443,395	457,956	△ 14,561
消耗品費	166,203	31,690	134,513
印刷製本費	4,272,592	3,698,566	574,026
会場・式典費	1,297,205	1,592,737	△ 295,532
光熱水料費	168,939	155,565	13,374
賃借料	0	456,678	△ 456,678
諸謝金	579,124	991,193	△ 412,069
租税公課	283,595	189,345	94,250
支払褒賞金	600,000	900,000	△ 300,000
支払助成金	200,000	0	200,000
雑費	36,220	75,347	△ 39,127

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	[2,930,484]	[2,809,059]	[121,425]
役員報酬	600,000	600,000	0
会議費	267,455	121,940	145,515
旅費交通費	231,034	140,206	90,828
通信運搬費	212,379	197,364	15,015
減価償却費	238,752	246,592	△ 7,840
事務消耗品費	122,969	45,090	77,879
印刷製本費	9,818	12,575	△ 2,757
光熱水料費	90,842	83,767	7,075
賃借料	0	245,903	△ 245,903
諸謝金	739,024	693,274	45,750
租税公課	169,905	132,755	37,150
支払利息	91,781	10,737	81,044
渉外接待費	10,788	0	10,788
雑費	145,737	278,856	△ 133,119
經常費用計	16,909,351	16,876,140	33,211
当期經常増減額	643,766	366,954	276,812
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	643,766	366,954	276,812
一般正味財産期首残高	35,815,241	35,448,287	366,954
一般正味財産期末残高	36,459,007	35,815,241	643,766
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	36,459,007	35,815,241	643,766

財産目録

令和5年3月31日現在

【単位:円】

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 手許在高	52,043		
当座預金 三菱UFJ銀行出町支店	6,845,708		
普通預金 京都銀行百万遍支店	656,942		
振替貯金 ゆうちょ銀行	100,868		
現金預金計		7,655,561	
流動資産合計			7,655,561
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特別積立資産			
普通預金 三菱UFJ銀行出町支店	10,000,219		
特定資産合計		10,000,219	
(2) その他固定資産			
建 物			
学士会館(鉄骨造地上3階地下1階 158.93㎡)	17,029,245		
建物附属設備			
会館内電気設備、給排水設備ほか3点	2,651		
什器備品			
応接セットほか20点	61,624		
土 地			
学士会館敷地(92.55㎡)	12,730,441		
電話加入権			
		224,952	
長期前払費用			
セコム損害保険(株)・火災保険料	59,152		
その他固定資産合計		30,108,065	
固定資産合計			40,108,284
資産合計			47,763,845

科 目	金 額		
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
事業費・会議費ほか			
都ホテル京都八条	94,350		
京交信	16,020		
日本郵政(株)	17,712		
未払金計		128,082	
前受金			
令和5年度年会費		10,000	
預り金			
職員他 R5/1~3月給与源泉税ほか		24,756	
1年内返済予定長期借入金		792,000	
流動負債合計			954,838
2. 固定負債			
長期借入金			
京都銀行百万遍支店		10,350,000	
固定負債合計			10,350,000
負債合計			11,304,838
正味財産			36,459,007

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は定率法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
特別積立資産	15,000,119	5,000,100	10,000,000	10,000,219
合 計	15,000,119	5,000,100	10,000,000	10,000,219

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
特別積立資産	10,000,219	0	10,000,219	—
合 計	10,000,219	0	10,000,219	0

4. 担保に供している資産

土地 12,730,441 円（帳簿価額）及び建物 17,029,245 円（帳簿価額）は、長期借入金 11,142,000 円の担保に供している。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	47,000,000	29,970,755	17,029,245
建物付属設備	7,344,710	7,342,059	2,651
什 器 備 品	8,690,269	8,628,645	61,624
合 計	63,034,979	45,941,459	17,093,520

6. 債権の債券金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

対象となる貸倒引当金の設定はなし

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 関連当事者との取引内容

関連当事者との取引の内容に、重要なものはない。

11. 重要な後発事象

該当なし

以上

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【単位:円】

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①特定資産運用収入	[0]	[100]	[△ 100]	
特定資産利息収入	0	100	△ 100	
②入金収入	[20,000]	[15,000]	[5,000]	
入金収入	20,000	15,000	5,000	
③会費収入	[3,700,000]	[3,570,000]	[130,000]	
正会員会費収入	1,500,000	1,410,000	90,000	
賛助会員会費収入	2,200,000	2,160,000	40,000	
④事業収入	[7,380,000]	[7,388,000]	[△ 8,000]	
機関誌広告料収入	7,380,000	7,388,000	△ 8,000	
⑤寄付金収入	[1,900,000]	[6,580,000]	[△ 4,680,000]	
表彰事業協賛金収入	1,500,000	1,100,000	400,000	
助成事業協賛金収入	400,000	430,000	△ 30,000	
その他運営協賛金収入	0	5,050,000	△ 5,050,000	
⑥雑収入	[0]	[17]	[△ 17]	
受取利息収入	0	17	△ 17	
事業活動収入計	13,000,000	17,553,117	△ 4,553,117	
2.事業活動支出				
①事業費支出	[10,320,000]	[13,535,472]	[△ 3,215,472]	
表彰事業費支出	1,600,000	2,053,430	△ 453,430	
助成事業費支出	200,000	300,569	△ 100,569	
講演講習会費支出	300,000	100,000	200,000	
図書刊行費支出	3,000,000	4,936,474	△ 1,936,474	
対外活動費支出	100,000	213,540	△ 113,540	
役員報酬支出	2,700,000	3,225,000	△ 525,000	
給与手当支出	1,100,000	1,269,000	△ 169,000	
福利厚生費支出	530,000	560,216	△ 30,216	
通信運搬費支出	250,000	304,623	△ 54,623	
消耗品費支出	40,000	66,203	△ 26,203	
光熱水料費支出	130,000	168,939	△ 38,939	
租税公課支出	270,000	283,595	△ 13,595	
雑支出	100,000	53,883	46,117	

科目	予算額	決算額	差異	備考
②管理費支出	[1,990,000]	[2,691,732]	[△ 701,732]	
役員報酬支出	600,000	600,000	0	
会議費支出	200,000	267,455	△ 67,455	
通信運搬費支出	130,000	212,379	△ 82,379	
事務消耗品費支出	20,000	132,787	△ 112,787	
光熱水料費支出	70,000	90,842	△ 20,842	
諸謝金支出	650,000	739,024	△ 89,024	
租税公課支出	140,000	169,905	△ 29,905	
渉外接待費支出	50,000	241,822	△ 191,822	
支払利息支出	90,000	91,781	△ 1,781	
雑支出	40,000	145,737	△ 105,737	
事業活動支出計	12,310,000	16,227,204	△ 3,917,204	
事業活動収支差額	690,000	1,325,913	△ 635,913	
II 投資活動収支の部				
特別積立資産取崩収入	0	10,000,000	△ 10,000,000	
投資活動収入計	0	10,000,000	△ 10,000,000	
2.投資活動支出				
	[0]	[5,059,252]	[△ 5,059,252]	
特別積立資産取得支出	0	5,000,100	△ 5,000,100	
長期前払費用支出	0	59,152	△ 59,152	
投資活動支出計	0	5,059,252	△ 5,059,252	
投資活動収支差額	0	4,940,748	△ 4,940,748	
III 財産活動収支の部				
1.財務活動収入				
2.財務活動支出				
借入金返済支出	0	792,000	△ 792,000	
財務活動収支差額	0	△ 792,000	792,000	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	690,000	5,474,661	△ 4,784,661	
前期繰越収支差額	2,018,062	2,018,062	0	
次期繰越収支差額	2,708,062	7,492,723	△ 4,784,661	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲は、預貯金、短期金銭債権債務及びこれに準ずる流動資産または流動負債としている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に示すとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,212,542	7,655,561
合 計	2,212,542	7,655,561
未払金	144,418	128,082
前受金	10,000	10,000
預り金	40,062	24,756
合 計	194,480	162,838
次期繰越収支差額	2,018,062	7,492,723

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおりである。

令和4年度収支計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

科 目	2022年度予算	2022年度実績	増 減	備 考	2021年度実績	2022・2021実績差
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
特定資産受取利息	0	100	100		76	24
受取入会金	20,000	15,000	-5,000		15,000	0
正会員受取会費	1,500,000	1,410,000	-90,000		1,320,000	90,000
賛助会員受取会費	2,200,000	2,160,000	-40,000		2,360,000	-200,000
受取機関誌広告料	7,380,000	7,388,000	8,000		7,388,000	0
表彰事業受取協賛金	1,500,000	1,100,000	-400,000		1,160,000	-60,000
助成事業受取協賛金	400,000	430,000	30,000		0	430,000
国際交流事業受取協賛金	0	0	0		0	0
その他受取運営協賛金	0	50,000	0		0	50,000
受取利息	0	17	17		18	-1
雑収益	0	0	0		0	0
経常収益計	13,000,000	12,553,117	-446,883		12,243,094	310,023
(2) 経常費用						
事業費						
表彰事業費	1,600,000	2,053,430	-453,430		2,284,412	-230,982
助成事業費	200,000	300,569	-100,569		0	300,569
国際交流事業費	0	0	0		0	0
講演講習会費	300,000	100,000	200,000		1,109,174	-1,009,174
図書刊行費	3,000,000	4,936,474	-1,936,474		4,522,323	414,151
役員報酬	2,700,000	3,225,000	-525,000		2,825,000	400,000
給料手当	1,100,000	1,269,000	-169,000		966,000	303,000
福利厚生費	530,000	560,216	-30,216		543,426	16,790
※ 通信運搬費	250,000	304,623	-54,623	註1	338,256	-33,633
※ 減価償却費	450,000	443,395	6,605	註2	457,956	-14,561
※ 消耗品費	40,000	66,203	-26,203		31,690	34,513
印刷製本費	0	0	0		0	0
※ 光熱水量費	130,000	168,939	-38,939		155,565	13,374
賃貸料	0	0	0		456,678	-456,678
※ 租税公課	270,000	283,595	-13,595	註3	189,345	94,250
対外活動費	100,000	213,540	-113,540		103,120	110,420
※ 雑費	0	53,883	-53,883	註4	84,136	-30,253
予備費	100,000	0	100,000		0	0
事業費計	10,770,000	13,978,867	-3,208,867		14,067,081	-88,214

【経常収益】

1. 正・賛助会員受取会費：退会等により正会員及び賛助会員と合わせ見込み額より13万円の減収。昨年度実績とほぼ同額の収益。
2. 受取機関誌広告料：ほぼ予算に見合った収益。
3. 表彰事業受取協賛金：見込み額より40万円の減収となったが、昨年度実績と同額の収益。
4. 助成事業受取協賛金：ほぼ予算に見合った収益。

※全体評価：表彰事業受取協賛金を除きほぼ予算に見合った収益。昨年度実績より約31万円の増収となったが、退会に伴う会費の減収が止まらない。

【経常費用・事業費】

1. 表彰事業費：昨年度実績より約23万円の執行減。概ね例年に見合った執行額。
2. 講演講習会費：シンポジウム未開催に伴う執行残。
3. 図書刊行費：会誌ACADEMIAの頁数、発行部数とも昨年度を上回り、過去最多となったことに伴う執行増

年 度	頁 数	発行部数
2020年度	298頁	4,350部
2021年度	518頁	4,200部
2022年度	552頁	6,250部
昨年度との差	34頁	2,050部

4. 役員報酬、給料手当は、賃上げに伴う執行増(会長指示による11年ぶりの賃上げ)。
5. 通信運搬費、消耗品費、光熱水量、雑費とも予算を上回ったものの、昨年度実績額相当の執行額。
6. 租税公課は、府市民税増額(土地取得税)に伴う執行増。
7. 対外活動費は、シンポ、フォーラム出席及び支援活動等に伴う執行増。

※全体評価：今年度予算は昨年度予算に順次、経常収益予想額内に収めることを原則としたため、昨年度同様大幅な予算超過となることは想定内。予算的には大幅な支出超過となったが、昨年度実績額と比べ、未実施だった助成事業費分の執行増。

支出の大きい表彰事業費、助成事業費、講演講習費、図書刊行費は、いずれも事業目的遂行上不可欠な経費。

とりわけ図書刊行費は、本会の根幹を成す事業実施経費であり、その経費削減は難しく、他の事業の抜本的な見直しが必要。

科目	2022年度予算	2022年度実績	増減		2021年度実績	2022・2021実績差
経常収益計	13,000,000	12,553,117	446,883		12,243,094	310,023
事業費計	10,770,000	13,978,867	-3,208,867		14,067,081	-88,214

令和4年度収支計算書
2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:円)

科目	2022年度予算	2022年度実績	増減	備考	2021年度実績	2022・2021実績差
管理費						
役職手当	600,000	600,000	0		600,000	0
給料手当	0	0	0		0	0
会議費	200,000	267,455	-67,455		262,146	5,309
印刷製本費	0	0	0		0	0
諸謝金	650,000	739,024	-89,024		693,274	45,750
※ 通信運搬費	130,000	212,379	-82,379	註1	197,364	15,015
※ 減価償却費	240,000	238,752	1,248	註2	246,592	-7,840
※ 消耗品費	20,000	132,787	-112,787		57,665	75,122
※ 光熱水料費	70,000	90,842	-20,842		83,767	7,075
賃借料	0	0	0		245,903	-245,903
借入利子	90,000	91,781	-1,781		10,737	81,044
※ 租税公課	140,000	169,905	-29,905	註3	132,755	37,150
対外活動費	50,000	241,822	-191,822		146,491	95,331
設備備品費	0	0	0		0	0
※ 雑費	40,000	145,737	-105,737	註4	132,365	13,372
管理費計	2,230,000	2,930,484	-700,484		2,809,059	121,425
経常費用計	13,000,000	16,909,351	-3,909,351		16,876,140	33,211
当期経常増減額	0	-4,356,234	-4,356,234		-4,633,046	276,812
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
受取寄付金振替額	0	5,000,000	5,000,000		5,000,000	0
経常外収益計	0	5,000,000	5,000,000		5,000,000	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	5,000,000	5,000,000		5,000,000	0
当期一般正味財産増減額	0	643,766	643,766		366,954	276,812
一般正味財産期首残高	35,448,287	35,815,241	-366,954		35,448,287	366,954
一般正味財産期末残高	35,448,287	36,459,007	1,010,720		35,815,241	643,766
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	0	0	0		0	0
当期指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高	0	0	0		0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0	0
III 正味財産期末残高	35,448,287	36,459,007	1,010,720		35,815,241	643,766

【経常費用・管理費】

1. 会議費:会場使用料等の値上げに伴う執行増。
2. 対外活動費:那覇出張等に伴う執行増
3. 租税公課は、府市民税増額(土地取得税)に伴う執行増。

※. 全体評価:約70万円の予算超過となったが、対外活動費を除けば概ね昨年度実績額。。

【註】

1. ※印科目は、事業費65%・管理費35%に按分
2. 註1:通信運搬費内訳 日本郵便、切手・はがき、佐川急便、さくらネット、NTT(Tel+インターネット)、銀行振込手数料。
3. 註2:建物等固定資産の減価償却分 682,147円
4. 註3:租税公課 463,500円=固定資産税217,300円+府市民税219,000円+印紙税27,200円
5. 註4:雑費内訳 京交信・NHK・払込料金・振込手数料・その他

【総合評価】

1. アカデミア賞授賞式の通常開催、アカデミア教育研究助成実施、会誌ACADEMIAの印刷費増、賃上げ等により予算的には大幅な執行増となったが、昨年度実績額と比べ、賃上げ相当分の支出増であり、賃上げ分を除けば全体の執行額は昨年度及び令和元年以前の各年度執行額と大きな差は無い。
2. 現金ベースでは、(経常収益実績)12,553,117円-(減価償却費を除く経常実績)16,227,204円=△3,674,087円。
3. 今年度は昨年度に続きに比べ大幅な赤字となったが、事業費の執行額超過もさることながら、なにより受取機関誌広告料をはじめとする経常収益金の減収が赤字の主たる要因である。今後、抜本的な事業見直しの検討が必要と思われる。

業務及び財産の状況等に関する監査報告

一般社団法人全国日本学士会

会長（代表理事） 真栄城 徳 佳 殿

私たち監事は、一般社団法人全国日本学士会の令和4年度事業年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を実施いたしました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、当該法人事務所において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書、個別注記表、附属明細書の監査を実施しました。

2. 監査結果

- 1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- 3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- 4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

令和 5年 5月31日

一般社団法人全国日本学士会

監 事

久保田純一郎 

監 事

太田晶子 